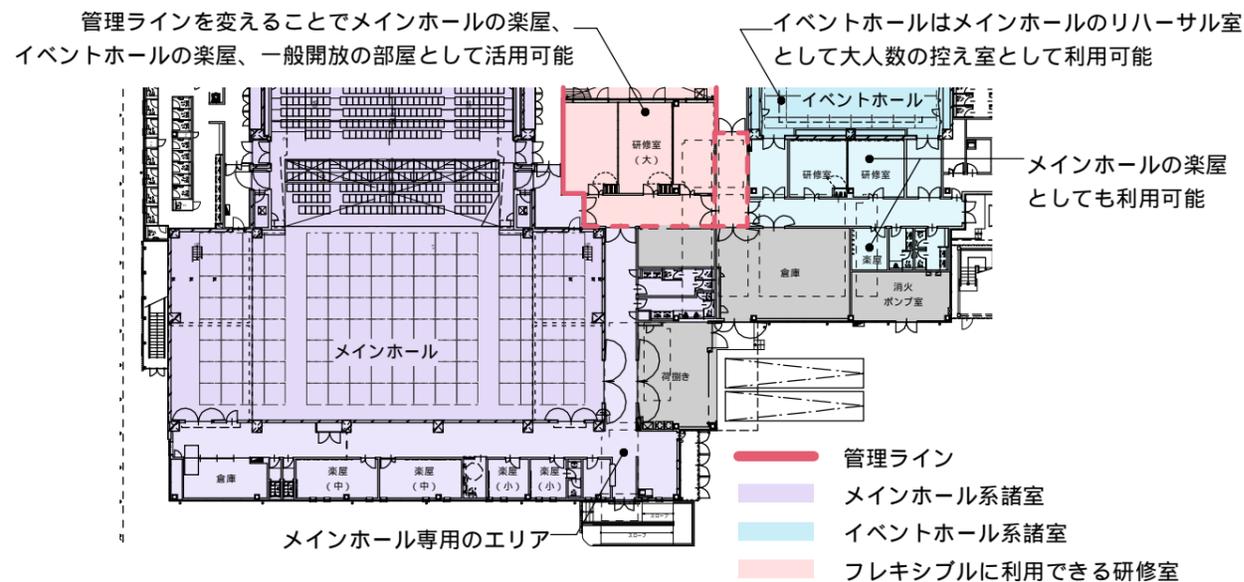


< 共用施設計画 >

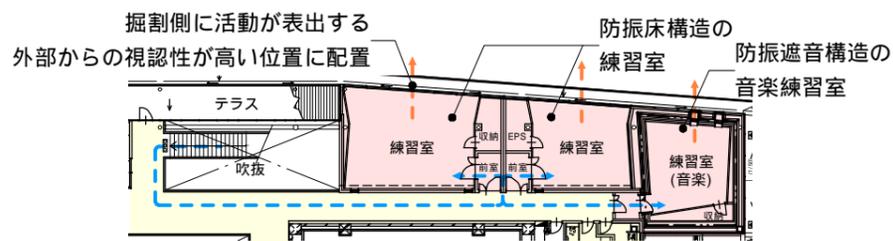
楽屋

- ・2つのホールを並列に配置し、楽屋や搬入・倉庫等をひとまとまりとして相互利用など様々な使い方に対応。
- ・中～大楽屋は「研修室」とし、会議室などの利用も想定。
- ・研修室を移動間仕切で区画し、個別／一体的使用に対応。
- ・楽屋ゾーンへの複数のアプローチと管理ラインの変更により各ホール専用の楽屋としての利用や、いずれかのホールによる一体利用の他、市民の一般利用にも対応。



練習室

- ・市民の日常的な練習の場として、防音機能を備えた音楽練習室1室とダンス・演劇などに利用できる練習室2室を配置。会合等の利用も想定。
- ・利用者にとってわかりやすい位置に配置。
- ・掘割に面した環境のよい稽古の場。



展示ギャラリー

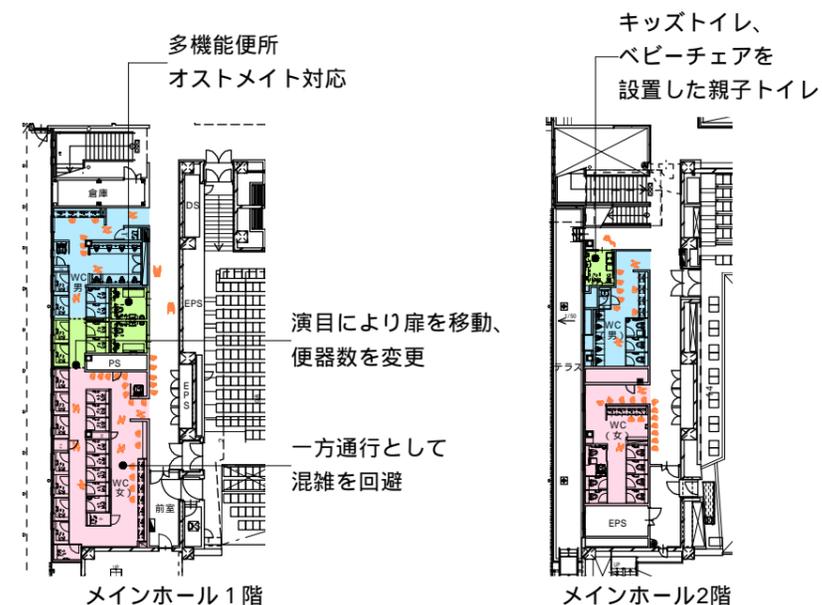
- ・市民の作品発表の場。共用ロビーに面したわかりやすい位置に配置。
- ・ホールでの大規模催時にはアフタートーク等の関連イベント、開演前・幕間等の客溜まりスペースとしての利用も可能。
- ・展示パネルは移動可能な備品として、ギャラリー以外の多目的な利用に対応。

会議室・ミーティングルーム

- ・一般利用を想定した会議室。ホワイエと連続する位置に配置し、ホワイエの一部としても利用可能。
- ・ホールサポーターや市民団体の活動拠点、また一般利用などを想定したミーティングルームを配置。
- ・授乳室、託児室としての利用も想定。

便所

- ・女性の待ち時間を考慮した客用便所を計画。
- ・各階でサービスレベル1を超える個数を確保。
- ・1階は男女間のスライド式の扉を移動させ演目に応じて便器数を可変することができる。
- ・車椅子対応の多目的便所はオストメイトに対応。
- ・親子室から近い位置に親子トイレを設置。



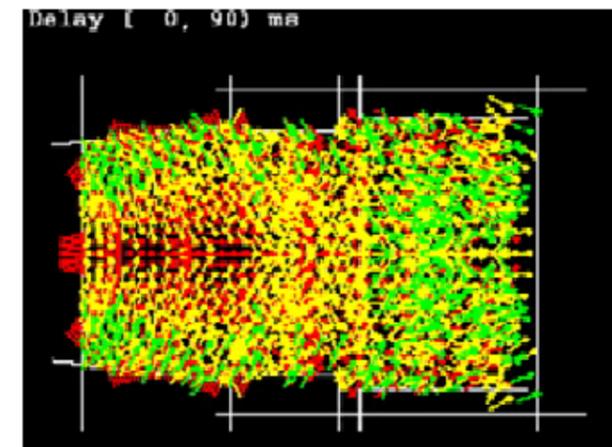
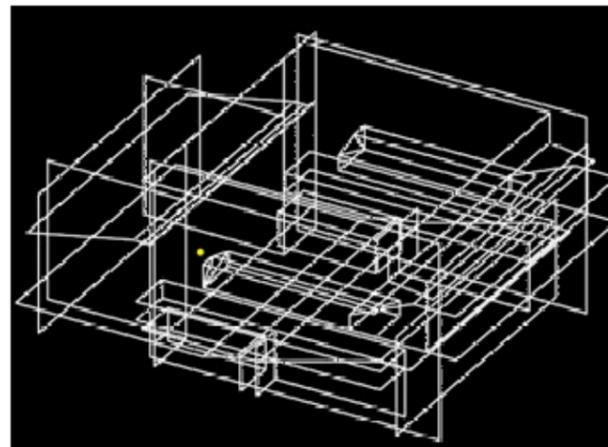
< 音響計画 >

用途にふさわしい静けさの確保

- ・室内騒音低減目標値：
メインホール NC-20 (客席設置劇場形式時)、イベントホール NC-20～25
- ・2つのホール間、練習室間の遮音構造。
- ・空調設備騒音等の遮音対策。

使用目的に合ったよい響きの実現

- ・初期反射音が客席・ステージ全体にまんべんなく、バランスよく到来する形状。
- ・メインホールには音響反射板を設置。
- ・吸音カーテンにより残響時間を可変させることでコンサートホールから演劇・講演会まで用途に応じた響きを実現。



コンピュータシミュレーション検討

<景観計画>

■掘割沿いの立地を生かした伸びやかなデザイン

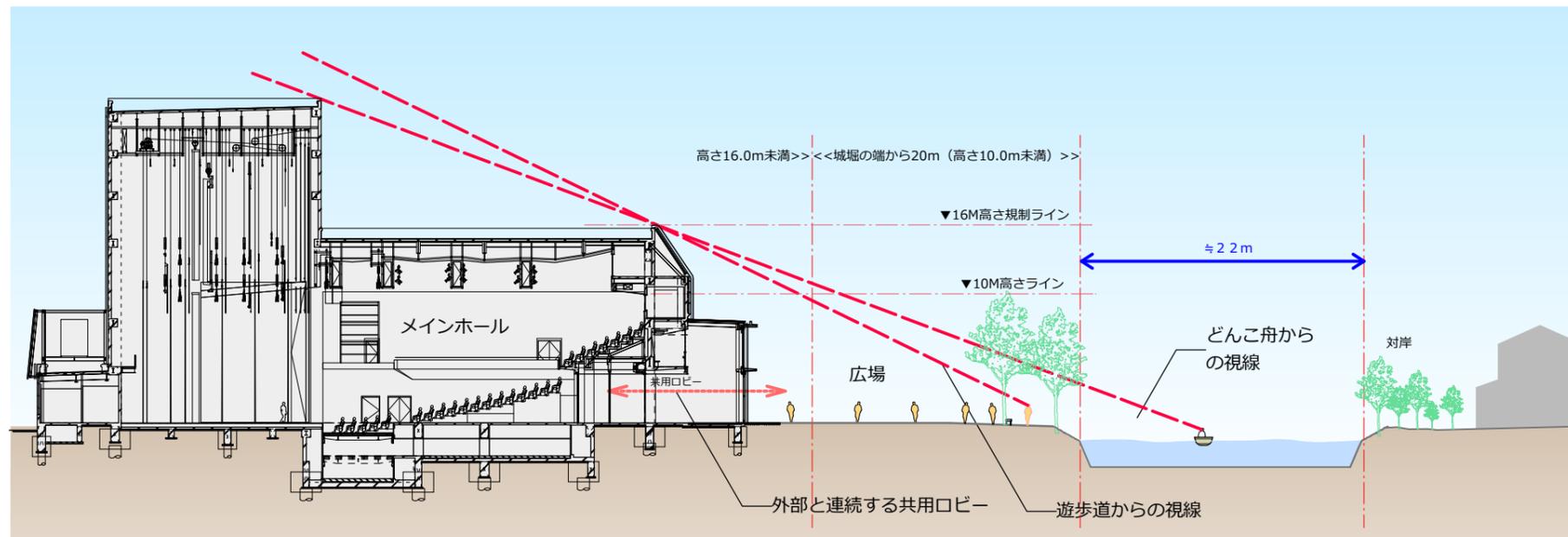
- ・掘割の流れをイメージした水平基調の建物デザイン。
- ・ホールとロビー・広場を連続させる大きな開口部。

■柳川の風景をイメージさせる外観

- ・柳川の風景に調和する白壁、木質系の素材や黒く落ち着いた色彩。
- ・まちの回遊性を考慮し西側にも正面性をもたせた外観。

■高さを抑えた建物ボリューム

- ・景観重要地区の立地を考慮、高さを極力抑えた周辺と調和する計画。
- ・広場側・掘割側からの視線に配慮し、圧迫感を抑えた断面計画。



■掘割と連続する断面イメージ



■掘割からの視線イメージ



■西側：サインや庇により西側の顔をつくる